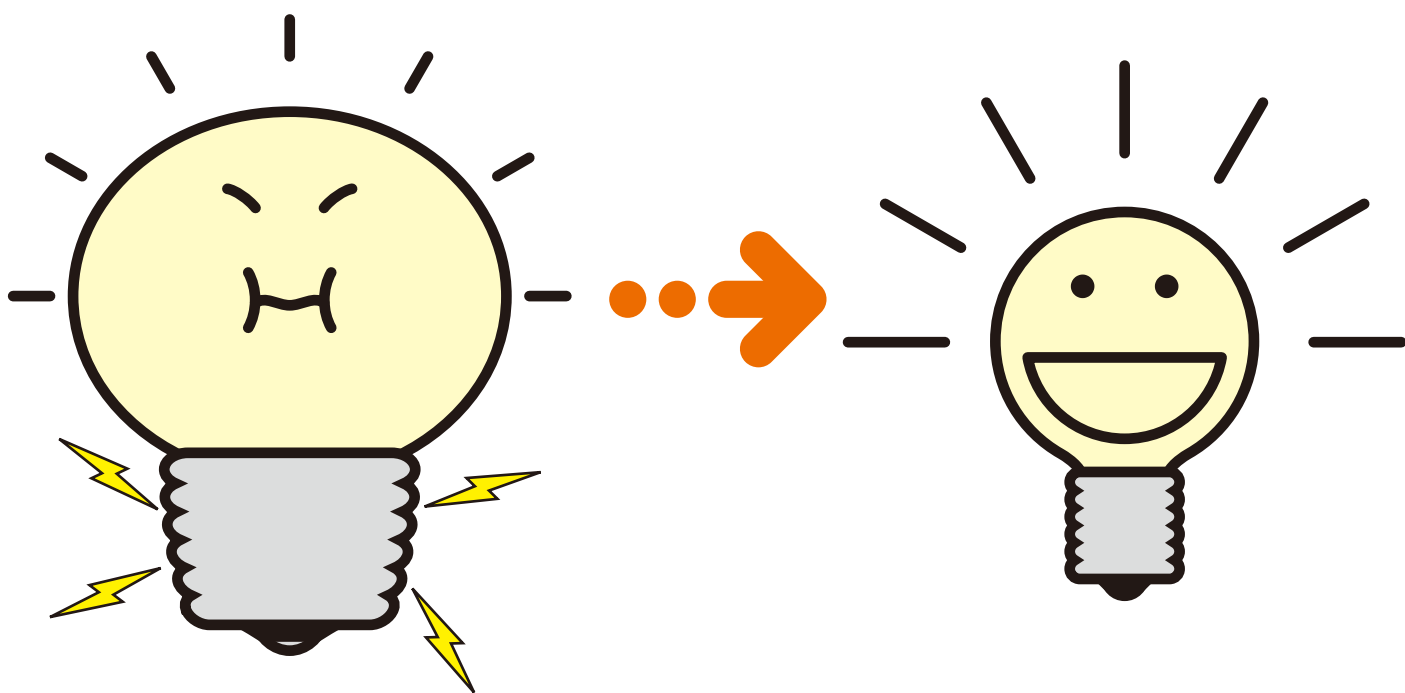


電気をへらして 明るい職場♪

手間とお金をかけない節電の成功事例おしえます！



暑くならない・暗くならない、長続きする節電を。
10年前の照明・空調設備の更新はやらなきゃソンソン！
大幅な節電に成功した事業所のお話を聞いてみよう。

面倒なことに取り組まなくても、古い照明や空調設備を更新するだけで、電力消費量はぐんと下がります。冷暖房を電気からガス式に切り替えるとともに効果的です。

また、使う電力の上限を自らコントロールすることで、年間の電気代も激減。

節電はそのままコスト削減につながる上に、電力不足に頭を悩ませることが減ります。

お金がなくても、各種の補助金、助成金、融資制度を利用すれば、安上がり。しかも機器更新で下がった電気料金はその後キープされるので、数年後には元が取れます。

無理なくおトクな節電のコツを学び、機器を更新することで実際に大幅な節電と経費節減を実現した事業所の話聞いて、自らの職場での導入の可能性を探りましょう。

日時 2013年2月19日(火)
午後1:10～4:30(開場12:50)

会場 近江八幡商工会議所 大ホール
(近江八幡市桜宮町231-2)

対象 事業者、自治体職員・議員、節電に関心のある方

参加費 500円

内容 ●講演「電気をカエルと未来が変わる」
電気をカエル計画代表 石井伸弘さん

●節電事例発表 株式会社 KOHDEN & 甲西陸運株式会社/
株式会社 日吉/株式会社 沢田商店

●情報交換

主催 電気をカエル計画滋賀
(ネットワークあすのわプロジェクトチーム)

共催 電気をカエル計画

後援 滋賀県(予定)、滋賀グリーン購入ネットワーク、
京都グリーン購入ネットワーク

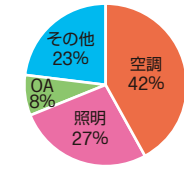
電気をへらして明るい職場

時間とお金をかけない節電の成功事例おしえます！

節電の要は、業務・産業、そして照明・空調

日本の電力使用状況は、業務用・産業用が6割を占めます。また、そのオフィスにおける電力の使用割合は照明が3割、空調が4割となっており、照明と空調の節電への取り組みがもっとも効果的です。今回、事例発表をいただく事業所では、照明と空調の更新およびデマンド（最大需要量）をコントロールすることにより実際に2割から3割以上の電力削減効果を上げています。

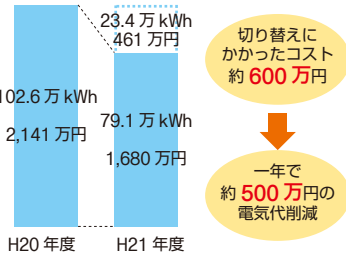
業務部門電力消費割合



出典：資源エネルギー庁

機器更新のコストは電気代で回収できる！

照明の節電への取り組みでは、自治体では奈良県大和郡山市（人口約9万人）の事例が特に参考になります。庁舎の照明（旧式の蛍光灯）を、節電率が約5割となる、安価な高効率のHf蛍光灯などに取替えることで、年間約600万円の経費削減と、庁舎全体で27%の節電を果たし、また、取替えにかかったコストも約1000万円と、2年弱で回収しています。



電気に頼る脆弱な産業構造・社会構造を変える

また、日本の発電所では夏と冬のピーク時の電力、つまり空調需要をまかなうために、過剰な設備投資が行われています。結果として設備稼働率が下がり、高い電力料金となっています。日本における電力料金を構造的に下げるためには、空調設備を最新式のものに更新して節電するか、電気に頼る方法を改めること（ガス式エアコンへの移行など。ランニングコストも割安）が求められています。これは電力に過剰に頼っている脆弱な社会構造をあらためることにもつながります。

電気に翻弄される社会にさようなら。日本の電気をカエル！

「電気をカエル計画」では、大口需要者の節電事例を調査するとともに、成功例をもとに自治体や事業者に提案することにより、それぞれの節電の取組を側面から支援してきました。これまで積み重ねた情報を元に、より効果的で無理のない節電方法をお伝えします。

会場へのアクセス



セミナーのスケジュール（予定）

13:10	講演 電気をカエル計画より提案 「電気をカエルと未来が変わる」（仮題） 講師 電気をカエル計画 代表 石井伸弘さん
14:10	事例発表 ① 株式会社 KOHDEN & 甲西陸運株式会社（湖南市） 総合物流業と照明製造業を柱とする様々な事業を行う。今年2月末にはメガソーラーおよびバイオ精製プラントとハイブリッド発電等のクリーンエネルギーセンターを新規開設。また、市民地域共同発電にも積極的に協力。昨年以降に設置した省エネ照明器具で50%削減の成果を上げている。 ② 株式会社 日吉（近江八幡市） 分析・測定から工業薬品販売、施設維持管理、廃棄物処理、環境保全に至るまで幅広く環境事業をトータルサポート。電力使用状況の「見える化」で社内意識の向上を図り、照明や空調の一部更新、独自デマンド管理の実施、天窓の導入、自動販売機削減などで夏季には2010年度比22%を達成。 ③ 株式会社 沢田商店（長浜市） 「眠りのプロショップ Sawada」を経営。長年の環境への取り組みが評価され、第9回グリーン購入大賞を受賞。店舗の照明と空調の更新、デマンドコントローラーの導入により、2011年の電力消費量は前年度比33%を達成。
14:55	質疑と意見交換
15:35	情報交換 小グループに分かれ、それぞれの節電への取り組みについて情報交換をします。
16:20	まとめ、補助金に関する情報提供など（終了16:30）

問い合わせ・申し込み

「電気をカエル計画滋賀」事務局

〒520-2145 大津市大將軍 3-7-10 マンションきよし 301

担当：南村 多津恵

TEL 077-543-6337（藤本方）

FAX 077-547-3306

E-mail minnadepeakcut@yahoo.co.jp

URL <http://ekaeru25.shiga-saku.net/>

※定員に余裕がある場合に限り、当日の参加もできますが、会場と資料の準備の都合上、できるだけ事前にお申し込みをお願いします。下記のフォームをFAXでお送りいただくか、フォームの項目をメールにご記入の上、上記のアドレスにお送りください。（定員80名・申込み先着順で受け付けます）

「電気をカエル計画滋賀」とは

3.11 東電福島第一原発事故を契機に、エネルギーの供給および使用のあり方を変えようと活動を始めた非営利の市民団体です。

「トクする節電を自治体や産業界から家庭へ波及させ、省エネ・省電力型社会をつくる」ために、具体的な省電力情報を提案していきます。

「電気をカエル計画」は岐阜県でスタートし、全国で約10カ所、200名以上が参加しています。

「電気をカエル計画滋賀」ではこれまで、県内自治体への調査および働きかけ、自治体対象セミナーの開催、近隣府県でのネットワークづくりなどを行ってきました。

※電気をカエル計画滋賀（ネットワークあすのわ）は、滋賀県低炭素地域づくり活動計画認定制度の認定団体です。本セミナーは、平成24年度「滋賀県低炭素地域づくり活動促進助成金」をいただいで開催します。

電気をカエル節電セミナー 2013. 2. 19 申込みフォーム

お名前	事業所／所属団体名		部署名・役職	
住所	〒	電話	FAX	
E-mail	名簿掲載の可否			可 / 不可

※お書きいただいた情報は、今後の「電気をカエル計画」からの情報提供にのみ利用し、適切に取り扱います。

※今後の情報交換に役立てるため、参加者名簿（事業所／団体名、氏名のみ）を作成・配布する予定です。掲載可否を記入ください。

FAX 077-547-3306